

## ランサムウェア攻撃の対策を包括的に支援する 「ESET PROTECT MDR Lite」と「ID Entrance」連携機能の提供を開始

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キヤノン MJ）と、グループ会社のキヤノン IT ソリューションズ株式会社（代表取締役社長：須山寛、以下キヤノン ITS）は、アカウント情報の窃取を起点とするランサムウェア攻撃をはじめとしたサイバー脅威への対応を支援するため、キヤノン MJ が提供するセキュリティ監視・運用サービス型 XDR ソリューション「ESET PROTECT MDR Lite」と、キヤノン ITS のクラウド型統合 ID 管理サービス（IDaaS<sup>※1</sup>）「ID Entrance」の連携機能を、2026年3月25日より提供開始します。



「ID Entrance」の新機能による「ESET PROTECT MDR Lite」との連携概要

近年、クラウドサービスを狙った不正アクセスは増加しており、その多くは ID・パスワードなどのアカウント情報の窃取を起点としています。IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）が実施した調査<sup>※2</sup>では、サイバー攻撃の侵入経路としてアカウント情報の悪用が 36.8%を占め、ID 管理の強化が企業の喫緊の課題であることが示されています。ランサムウェア攻撃においても、不正取得された認証情報を用いた侵入が重大なリスクとなっており、認証段階から侵入後まで一貫して対処できる防御体制の重要性が高まっています。加えて、企業ではセキュリティ運用を担う専門人材の確保が難しいといった課題も深刻化しています。

このたびキヤノン MJ とキヤノン ITS は、セキュリティ監視・運用サービス型 XDR ソリューション「ESET PROTECT MDR Lite<sup>※3</sup>」（以下、ESET MDRL）と、クラウド型統合 ID 管理サービス（IDaaS）「ID Entrance」の連携機能<sup>※4</sup>の提供を開始します。本サービスにより、異常な認証行動や侵入の兆候を検知した際には、ESET MDRL が端末を即時にネットワークから切り離し、「ID Entrance」で対象アカウントを自動的にロックするとともに、SSO<sup>※5</sup>セッションも終了させます。これにより、不正アクセスをその場で迅速に遮断し、被害拡大を防ぐことが可能になります。エンドポイントからクラウドサービスまでを包括的に保護することで企業の防御体制をより強固にします。

さらに、デバイスとユーザーの状態を監視し、信頼性を継続的に検証するゼロトラスト<sup>※6</sup>の実践を体系的に支援します。異常検知後の隔離やアカウントロックといったインシデント対応を自動化し、認証管理を含むセキュリティ運用の負荷を大幅に軽減します。これにより、企業は常に安全性を確認しながら運用できる環境を実現できます。

キヤノン MJ グループは、「ESET PROTECT MDR Lite」と「ID Entrance」の連携機能の提供を通じて、アカウント情報窃取を含む多様な攻撃に対し、企業が強固な防御体制を構築できるよう支援します。今後も、運用効率化とセキュリティ強化を両立するサービスを提供し、安心してクラウドを活用できる環境づくりを推進していきます。

※1. IDaaS：Identity as a Service の略。複数のサービスの ID やパスワード情報を一元管理するクラウドサービス。  
 ※2. 「2024 年度 中小企業における情報セキュリティ対策に関する実態調査」<https://www.ipa.go.jp/security/reports/sme/sme-survey2024.html>  
 ※3. ESET は、ESET, spol. s r.o. の登録商標または商標です。  
 ※4. 「ESET PROTECT MDR Lite」と「ID Entrance」の両方の購入が必要です。  
 ※5. SSO：Single Sign-On の略。一度の認証で複数のサービスを利用できる仕組み。  
 ※6. 従来の「境界防御型」ではなく「何も信頼しない」を前提に対策を講じるセキュリティの考え方のこと。

- 
- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社 広報部 03-6719-9093 (直通)
  - セキュリティソリューションホームページ : <https://canon.jp/business/solution/it-sec>
  - ESET セキュリティソリューションホームページ : <https://canon.jp/eset>
  - ID Entrance ホームページ : <https://www.canon-its.co.jp/solution/industry/cross-industry/sec/identrance>

### 〈「ESET PROTECT MDR Lite」について〉

「ESET PROTECT MDR Lite」は、最小 26 ライセンスから導入可能なセキュリティ監視・運用サービス型 XDR ソリューションです。エンドポイント保護 (EPP)、拡張型検知・対応 (XDR) の各ツール提供と、24 時間 365 日の監視・対応サービス (MDR) がセットになったセキュリティソリューションです。

#### 1) 拡散前に封じるスピード。攻撃をすぐに検知・対応。

- 検知から平均約 6 分<sup>※7</sup> で初動対応完了。駆除、ネットワーク隔離まで支援<sup>※8</sup>します。セキュリティエンジニアが AI を活用しリアルタイム対応。深夜・休日も被害拡大を防ぎます。

※7. ESET 社調べ (2025 年 1 月～6 月における ESET PROTECT MDR Lite の対応実績より算出)

※8. 駆除で完了する場合がありますが、ネットワーク隔離した場合など含め、ユーザー側の事後作業が必要な場合があります。

#### 2) ESET ブランドひとつで完結。ランサムウェア攻撃対策もワンストップで任せられる安心感。

- PC などのエンドポイント保護 (EPP)、拡張型検知・対応ツール (XDR)、監視・対応サービス (MDR) を、ESET ブランドだけで完結できるため、機能ごとに別ブランドのツールを導入する場合と比較して、コストや作業工数の削減が見込めます。また、各種 ESET ツールのインストール完了後、速やかに運用を開始できます。

#### 3) 24 時間 365 日のセキュリティ監視に対応。サポートは国内拠点で日本語対応。

- 社内だけで運用が難しい 24 時間 365 日のセキュリティ監視を、リーズナブルな価格で実現することが可能です。サポート窓口は国内拠点に設置しており、常時セキュリティエンジニアが日本語で対応します。(キヤノン MJ グループによるサポート)

### 〈「ID Entrance」について〉

「ID Entrance」は、各種クラウドサービスへのログインに使用している ID やパスワードなどの情報を統合管理し、シングルサインオン機能 (以下、SSO 機能) により、複数のアプリケーションやサービスを、1 つの ID・パスワードで利用できるサービスです。また、多要素認証や認証ポリシー機能も備えた認証・認可機能をクラウド上で提供します。

#### 1) シングルサインオンによる一元管理・効率化

- 一度の ID・パスワードによるログインだけで複数のサービス利用を可能にします。

#### 2) 柔軟かつ強固なセキュリティ設定

- アカウント認証に際して、多要素認証 (ワンタイムパスワード認証/E メール認証) やクライアント証明書認証、IP アドレスアクセス制限などの認証ポリシーを、グループおよびクラウドサービスごとに設定、管理することができます。

#### 3) 5 ライセンスから利用できる安心のサポート体制

- 導入・運用時の設定をしっかりとサポートする「サポートセンターサービス」が標準付帯します。アカウントの追加・削除や、他のクラウドサービスとの連携設定など、日々の運用で手間がかかる作業を代行可能です。

#### 〈「ESET セキュリティソリューションシリーズ」について〉

「ESET セキュリティソリューションシリーズ」は、エンドポイントを取り巻く高度化・巧妙化する脅威に対し、実行前の無力化を重視した予防を起点に、検知から対応までを継続的に最適化するための、多様な機能とサービスを提供するセキュリティソリューションです。

マルウェア対策、クラウドサンドボックス、情報漏えい対策、クラウドアプリケーション保護、フルディスク暗号化、脆弱性対策などを組み合わせることで、企業規模や利用環境、用途に応じた包括的なセキュリティ対策を実現します。さらに、XDR や MDR サービスを通じて、脅威の検知・分析・封じ込めといった侵入後対策にも対応し、24 時間 365 日の監視体制や、インシデント発生時の迅速な対応を支援します。

多様化するワークスタイルやクラウド活用環境にも適応し、企業の持続的なセキュリティ強化をサポートします。

#### 〈IT インフラサービス「SOLTAGE」について〉

キヤノン ITS が提供する IT インフラサービス「SOLTAGE」は、クラウドインテグレーションサービス、ネットワークサービス、システム運用／保守サービス、セキュリティサービス、データセンターサービスを組み合わせて利用いただくことで、お客さまが保有するシステム全体の運用負荷を軽減し、コア業務へのリソース集中を実現する、IT インフラに関するすべての領域に対応するサービスです。

#### 〈キヤノンマーケティングジャパングループのトータルセキュリティについて〉

キヤノンマーケティングジャパングループは、外部からのサイバー攻撃だけでなく、内部不正による機密文書などの情報漏えいリスクにも着目し、これらの事業リスクに対する解決策として、「サイバー」「フィジカル（映像）」「ドキュメント」の三つの領域を融合したトータルセキュリティを提唱するとともに、お客さまの安心・安全なビジネス環境の実現と事業継続を支援していきます。